

まるやま

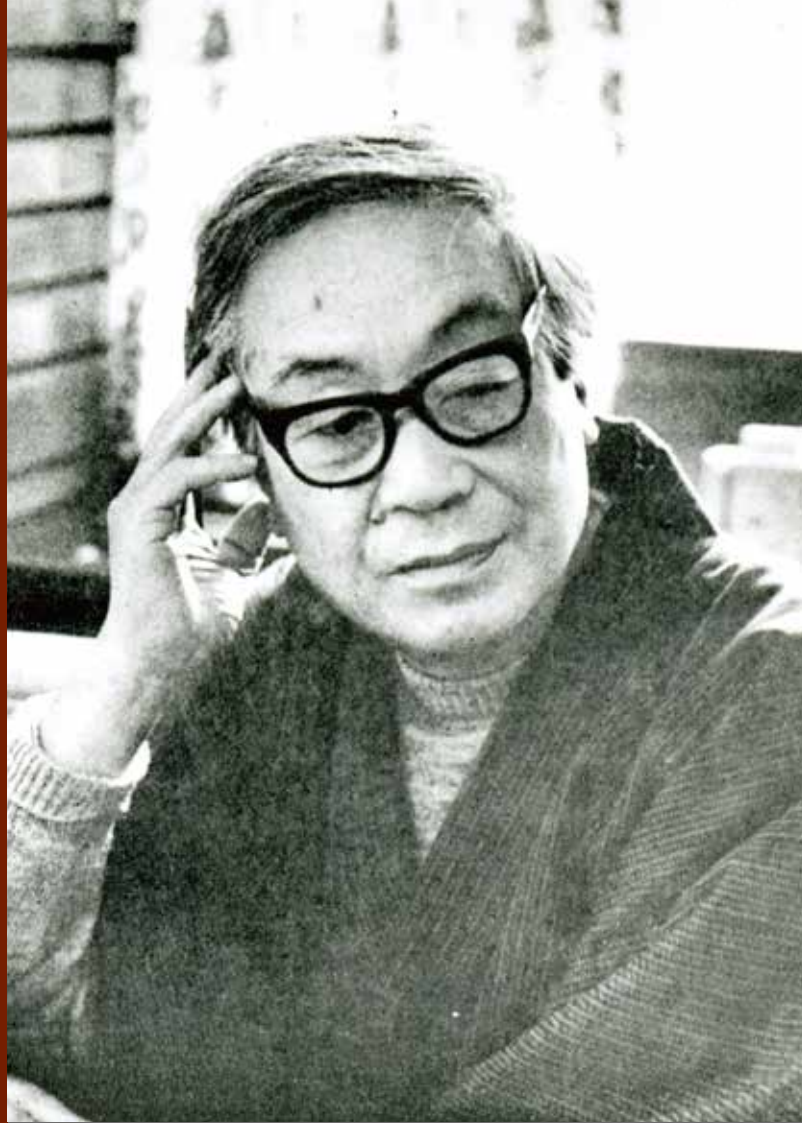
丸山

かおる

薫

明治32年（1899）～昭和49年（1974）

大分県大分市出身



明治44年（1911）、豊橋市に移り八町小学校、県立第四中学校（現・時習館高校）を卒業。その後豊橋を離れ、昭和9年（1934）、堀辰雄、三好達治と詩誌『四季』を創刊する。戦後、愛知大学で教鞭をとり、75歳で亡くなるまで豊橋で過ごした。昭和詩壇を代表する詩人の一人で、主な作品に『帆・ランプ・鷗』、エッセイ集『蝉川襦かき記』があり、鬼祭り音頭や校歌などの作詞も手掛けている。

豊橋市ではその功績を顕彰するため、「丸山薫賞」を制定し、毎年優れた現代詩集に賞を贈っている。

日本を代表する抒情詩人